

兵庫県保険医協会神戸支部 第38回総会・記念講演のご案内

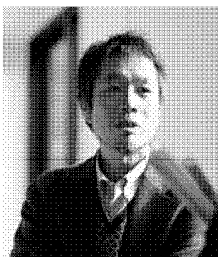
診察室で患者さんの元気を 引き出す接し方

～心理学から考える～

日時 11月26日（日）14:00～

会場 保険医協会5階会議室

講師 神戸松蔭女子学院大学 人間科学部心理学科 **坂本 真佐哉** 教授



どうすれば、診察室での短い会話で患者さんたちに元気を取り戻してもらえるでしょうか？

私たちは病を抱えると、どうしても失ったものに目が奪われがちになってしまいます。そこでは、単なる慰めや一方的な励ましだけではなかなか元気を取り戻してもらえないことを経験した方も少なくないでしょう。

会話には、人を癒し、明日への元気をひきだす力があります。しかし、医療現場での会話には時間が限られていることでしょう。それでも効率よく効果的なことばかけがあるのではないのでしょうか。実は、問いかけにそのヒントがあると考えています。「元気」

の元は患者さん自身が一番よく知っているはずで、短い会話の中で、効果的な問いかけ（質問）ができれば、患者さんの元気をひきだすことができるはずで、当日は、短く簡単な演習を織り交ぜながら、元気をひきだす理論と実際について、楽しく学んでいただきたいと考えています。 【坂本 記】

【さかもと まさや】1986年琉球大学法文学部社会学科心理学専攻卒業。臨床心理士として小郡まきはら病院や大分医科大学医学部（現・大分大学医学部）などを経て、2001年神戸松蔭女子学院大学文学部心理学科助教授。2007年ニュージーランド ワイカト大学客員研究員。08年神戸松蔭女子学院大学人間科学部准教授。2009年同教授。日本フリースサイコセラピー学会理事

お問い合わせは TEL：078-393-1807 小西・前川まで

参加申込書

・総会（14:00～） 参加 不参加（議事の一切を議長に委任します）

・記念講演（14:30～16:30） 参加（ ）人 不参加

・懇親会（記念講演終了後） 参加 不参加

*会場：ニューミュンヘン神戸元町店 参加無料

地区（ ） 医療機関名（ ）

会員氏名（ ） 連絡先（ ）

▼ FAX 返信 078-393-1820 ▼

兵庫県保険医協会

305号 2017年9月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

研究会に40人が参加

糖尿病治療について かわってきたこと・かわらないこと



（左）糖尿病治療の神戸海星病院での取り組みについて講演する竹内康雄先生

（右）40人の参加者が熱心に研究会を受講した

神戸支部は8月26日、協会会議室で研究会「糖尿病治療について、かわってきたこと、かわらないこと」を開催。神戸海星病院糖尿病センター長・内科部長の竹内康雄先生を講師に、40人が参加した。

竹内先生は、糖尿病の治療薬について新薬が続々と登場し、血糖管理は改善傾向にあると説明。治療薬について以前よりオーダーメイドが可能になった一方、選択肢が増え複雑になっていると解説した。

また、竹内先生は、薬物療法、食事療法、運動療法などについても触れ、糖尿病の薬物の選

択は作用の特性や副作用を考慮に入れながら個々の患者の状態に応じて行うことが大切であると述べた。食事療法では糖質摂取に関する議論が多くなされるようになったが、食事療法も運動療法も個々の患者に応じた対応が必要であると話した。

講演終了後には、活発な質疑応答がされた。

垂水区と須磨区社保協が総会を開催

須磨区 地域でさらなる 社会保障の運動の発展を 加藤支部幹事が会長に再選

神戸支部が参加する須磨区社会保障推進協議会は7月23日、いたやどクリニックで第14回総会を開催し、30人が参加した。

総会では、この間の情勢や須磨社保協の取り組みの報告を行い、国保相談会を行うなどとする新年度方針を議決した。加藤擁一支部幹事が会長に再選され、「あらゆる分野、階層で貧困と格差が広がっているが、国はさらに医療や介護の負担増を提案している。70歳以上の高齢者の患者負担限度額（高額療養費）や介護利用料の引き上げなど高齢者への負担増がますます懸念される。一方で、神戸市の子ども医療費は助成が拡充されてきており、今後は子ども医療費

無料化へのさらなる運動の前進が必要である。」とあいさつした。

学習会では、「介護保険・まちづくり～いま、地域で直面する困りごと」と題して

神戸医療生協常務理事の肥塚俊一氏が講師を務めた。

肥塚氏は、介護保険の法改正で、負担増が進む中、医療や介護の現場でも実態がつかめておらず、必要なところに必要な支援がされていないことを説明。肥塚氏が実際に経験した事例を中心に今介護の現場で何が起きており、どのような支援が必要であるかなどを解説した。



あいさつした加藤支部幹事

垂水区 みんなで大きな運動の 流れをつくろう 宮武支部幹事が会長に再選

神戸支部が参加する垂水・社会保障を良くする協議会（垂水社保協）は9月10日、2017年度総会を開催した。加盟団体から28人が参加し、2016年度のまとめと2017年度の計画と活動案を確認し、宮武博明会長（神戸支部幹事）ら役員を選出。宮武支部幹事は、西区の次に子どもの多い垂水区で病院の小児科が閉鎖に追い込まれている状況も示し、医療・社会保障を守る運動がますます重要と強調した。引き続き子ども医療費無料化の推進、国保や介護保険の改善運動に取り組もうと呼びかけた。

学習会では「憲法と社会保障—なぜ今、日本のあらゆる世代で貧困がひろがっているのか？」をテーマに、神戸合同事務所の吉田維一

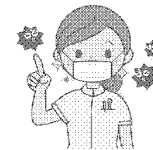
弁護士が講演した。吉田弁護士は、あらゆる世代で広がる貧困について言及し、社会保障を知り守る運動こそが、すべての世代でつながる要求になることを強調。憲法13条を堅持し、みんなで大きな運動にしていこうと訴えた。

活動交流では、参加7団体から、医療・介護や中学校給食・中小業者などそれぞれの分野で抱える課題について紹介があり、協力が呼びかけられた。



あいさつした宮武支部幹事

兵庫県保険医協会 神戸支部 院内感染対策研修会のご案内



「冬場の感染予防対策」

～あなたの施設は万全ですか？～

日時 2017年10月21日（土）午後3時～5時

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室（JR-阪神元町駅東口を出て南へ徒歩7分）

講師 済生会兵庫県病院

感染管理認定看護師 小川 麻由美 氏

参加費 1,000円（受講された方には受講証を発行します）

「医療安全管理」「院内感染対策」に関し、医療法では職員・従業員の研修を年2回程度実施することが求められ、無床診療所（内科・歯科）の場合は外部研修でも認められます。

神戸支部では外部研修として位置づけいただける、院内感染対策研修会を企画しました。インフルエンザやノロウイルスなど感染症流行のシーズン到来に備え、改めて外来での患者への対応を振り返ります。さらに防護具の正しい着脱演習など、現場ですぐに実践できるノウハウを講演いただきます。ぜひご参加下さい。

※お問い合わせは、電話 078-393-1801(代) 難波・小西まで

参加申込 FAX(078)393-1802 へご返信下さい

神戸支部院内感染対策研修会 10/21(土)

参加者氏名	職種

※受講証作成のため参加者氏名は楷書でご記入をお願い申し上げます。

()区 医療機関名
 ご担当者名 TEL () -
 FAX () -